シマサルスベリ ［ 島百日紅 ］

落葉／中高木／木本植物／国内外来種

科　名　ミソハギ科（APGⅢ）

特　記　生長：やや速い

６～８月に白い花をつける。秋まで咲くサルスベリに比べ花期はやや短い。花も小さく、色は白に限られる。魅力は幹肌の斑模様、すらりと直立する幹と自然樹形。１株植えても存在感がある。台湾、奄美大島など亜熱帯に自生するため寒さに弱いが関東地方北部まで生育可能。

葉と実

花

幹肌

紅葉と実

Memo

シマサルスベリの「シマ」は、①南方の諸島、②沖縄諸島という意味がある。シマトネリコも同様。

お手入れカレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花　期						■	■	■				
果　実	（花後、実を取り除くとよい）								■	■	■	
紅葉・黄葉											■	■
施　肥	■	■	■					■	■			
剪　定	■	■	■		★	★	★					■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境					
日当り	陽	○	○		陰
土　壌	乾	○	○		湿
寒　さ	強		○		弱
暑　さ	強	○			弱
潮　風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○	○		

ポイント

日当りを好み、乾燥や潮風に強く、やせ地でも育つ丈夫な樹。サルスベリに比べ大きく育つため、広い場所に配植したい。美しい樹肌をもつ端正な樹形は、街路樹やシンボルツリーに利用される。

剪　定

剪定はすらりと伸びる枝を残せる枝抜き剪定がよい。剪定に耐えるが、端正な自然樹形を活かして維持したい。大きくしないように維持できる樹ではない。

病虫害

病虫害は少ないが、高温多湿になると、うどんこ病が発生することがある。

SEKISUI HOUSE

COPYRIGHT©SEKISUI HOUSE,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.